



おたよりコーナー

42年ぶりに佐世保に戻ってみると、駅周辺が変わっていてびっくりしています。これからの発展を楽しみにしています。
(潮見町 春日野 洋子さん)

(広報係から)
お便りありがとうございました。
駅前広場や佐世保港近海航路旅客ターミナルも完成に近づき、佐世保駅周辺の再開発事業も大詰めを迎えました。
今後、本紙では駅周辺の再開発事業について、特集記事を掲載する予定です。ご期待ください。

先日、ごみ有料化についての説明会へ行ってきました。とても分かりやすく説明していただき、ますますごみ分別に力を入れなければならないと思い直しました。ペットボトルやびんは洗ってラベルをはがし、牛乳パックは洗って開いています。また、食品トレーは捨てないようになりました。子ども2人もペットボトルつぶしを手伝ってくれますし、楽しんでやっています。皆さんが一斉にごみ対策に取り組むと街がきれいになるでしょうね。
(権常寺町 多田隈 さおりさん)

(広報係から)
お便りありがとうございました。9月号のリサイクル特集では、ほかにもご感想やご意見をいただきました。ごみ問題は、よりよい環境を未来の世代へ残すことができるよう、私たち一人ひとりが取り組まなければならない最も身近な環境問題です。
今後とも環境についての記事は、担当部署の環境部とも協議しながら掲載していきたいと思ひます。

広報クイズ

問題の 中に文字を入れてください。答えのヒントは、紙面の中にあります。
全問正解者の中から抽選で、毎月5人に図書券をプレゼントします。紙面の都合上、発表は発送をもって代えさせていただきます。

- 問題 市役所裏の八幡橋が架かる前は、 を渡って川を越えていました。
 - 問題 ことしの全国防火標語は、「その 火から炎へ 災いへ」です。
 - 問題 ことし5月に施行された 法で、多数の人が集まる施設では、受動喫煙防止に努めなければならなくなりました。
- 前回の答えは、 市民文化 15 ソフトボールでした。たくさんのご応募ありがとうございました。

ご意見有用

市政に対する建設的なご意見を、書面でお寄せください。住所、氏名、年齢、電話番号を書き、「ご意見有用」担当あてと明記してください。採用分には図書券を差し上げます。



Q.温泉のレジオネラ菌は、もう大丈夫ですか？

清水町 狭間 恵子さん (59歳)

最近、あちこちらで、温泉施設が出来ていますが、レジオネラ菌の防止対策については、もう大丈夫ですか。

A.生活衛生課からお答えします

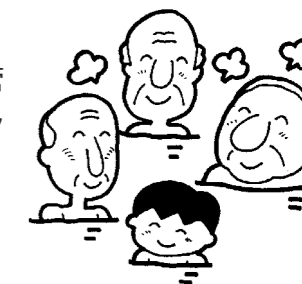
温泉施設などの衛生管理については、長崎県公衆浴場法施行条例と旅館業法施行条例で、入浴設備の

レジオネラ防止対策が定められ、毎日の水質の管理や設備の清掃・消毒などが義務付けられています。また、市では、施設の管理について、立ち入り調査やレジオネラ属菌検査などを実施しています。

安心して、公衆浴場や旅館などの温泉をお楽しみください。

レジオネラ属菌は、土の中や河川、湖沼など自然界に生息しています。私たちの身の回りでは、入浴設備、空気調和設備の冷却塔、給湯設備などの水を使用する設備に付着する生物膜(ぬめり)に生息し繁殖します。これらの設備から発生したエアロゾル(菌を含んだ空気)を吸い込むことで感染するといわれていますが、これらの設備を衛生的に管理することで、感染を防止することができます。

温泉を利用する際は、身体をよく洗ってから入浴するなどの衛生管理にご協力をお願いします。



これってどんな意味？

行政用語やカタカナ用語で、「耳にはするけど、よくわからない」というものがあれば、お寄せください。

市章、市の木、市の花の由来は？

今回は、佐世保市章(右)などについて解説します。

市章は、明治44(1911)年10月に制定されました。「サセホ」の文字を組み合わせたもので、市章の右斜め上がサ、中央がホ、左斜め下がセです。



佐世保は「させぼ」と読みますが、地名の由来にはさまざまな説があり、はっきりとはしていません。例えば、佐世保には「サセボ」と呼ばれる木が多く生えていたので、それが地名となり「させぼ」となったという説もあります。

佐世保港は、「葉港」とも呼ばれていますが、これ

は、サセホを縦に並べると「葉」の字になるためです。また、佐世保港の入り江の形が楓の葉に似ているからとも言われています。

市の木は、平成元年5月に制定された「ハナミズキ」です。紅白の花から受ける印象が都会的で、佐世保市の発展に明るい彩りを添えるなどの理由で選定されました。

市の花は、平成14年4月に制定された「カノコユリ」です。全国的に絶滅が危惧されている植物ですが、市内に広く自生しています。市内外に誇りを持って伝えることができ、市民全体で育み、広げていくことができる花として選定されました。



ハナミズキ



カノコユリ